



広告マンの力を見抜く、たった一つの質問

あなたのところにやってくる広告会社や媒体社の営業マン、制作プロダクションの人間、何れ、あなたの会社の販売促進実務に携わる外部スタッフの力量や仕事への姿勢を確認するのに簡単な方法があります。

そういう業種の方々から嫌われるのを覚悟でお伝えします。

こう聞いてみてください。

「あなたが1ヶ月以内に読んだ本の中で、今、私（当社）にとって参考になりそうな本は何かありませんでしたか？」

実は、これは、かなりイヤラシイ質問です。

なぜだかおわかりになりますでしょうか？

自社にとって役立つ情報というものにアンテナを張って、積極的な情報や技術の仕入をしているかどうかを聞いているのです。

この質問に、スラスラと返事が返ってくるようでしたら、この広告マンは相当仕事熱心であり、クライアントのことを考え、なおかつ、向上心に溢れていると言えます。

御社にとってあまりありがたいことではありませんが、一冊も本を読んでいないという返事が返ってきたとします。この人はとても正直者です。ですが、できるだけ早めに担当を変えていただくよう、やんわりとその会社に伝えてあげるべきです。

その広告会社は、当然、何かトラブルでもあったかと恐れおののくでしょうが、この事実を伝えてあげるだけで、事は足ります。

なぜか？

そういう人は1秒でも早く広告の世界から足を洗った方がいい人だからです。 その会社がまともな会社なら、それで理解できるはずですが、もし、理解してもらえないときの判断はあなたにお任せします。会社ごと・・もありかも・・

さて、こういう返事も考えられます。

「そうですねえ、これといったものはありませんでしたねえ。」

続けて質問してみてください。

「では、あなたにとって役に立った本、おもしろかった本は？」

すぐ答えが返ってくるようでしたら基本的には大丈夫です。しかし、やや注意しなければならぬ人たちがいます。いつ質問しても、小説やベストセラーばかりをいう人です。

このタイプは情報を吸収しているのではなく、情報にコントロールされている人である可能性が高いからです。

「・・・」

だったらどうでしょう。

一冊も本を読んでいないのでしょうか？ それとも、これといった本がなかっただけでしょうか？

では

「どんな本読みました？」

と、聞いてみましょう。

「・・・」

性善説を信じましょう。たまたま、この1ヶ月読まなかっただけのことかもしれません。

「1ヶ月じゃなくてもいいですよ」

とでも言うてみてください。あまり結果は変わらないと思います。1ヶ月にたった1冊も本をやまずにいられる人は、基本的に本を読む習慣のない人です。というより読みたくない人です。

さて、広告というのは、情報を扱うビジネスです。多くの情報に接しながら、自社のこと、クライアントのことを考えることが仕事の出発点といってもいいはずですが。

テレビやラジオは、その装置があれば、いやでもある程度の情報が入ってきます。しかし、活字は違います。積極的にその情報に自分が向かっていかなければなりません。

だから、その人の“情報”に向き合う姿勢がわかるのです。

野球選手が何度も素振りを繰り返すことによって試合でヒットが打てるのと同様です。広告マンは常日頃情報と接し、情報を選別し、加工するシミュレーションをすることが練習です。練習をしない人間が本番で力を出せるわけではありません。

本を読むことは、広告マンにとって、情報取捨能力を高めるための基本中の基本のトレーニングです。

こういう基本をおろそかにしている人間が、それなりにやっているとしたら、単なるマグレか、よほどスタッフに恵まれているか、あるいは、会社の看板にたよっているだけの何れかにちがいありません。

それからもう一つ、あなたに相当なゴマをすっているか・・・

自分自身を試す意味でも、聞いてみてください。聞くのはタダです。

「あなたが1ヶ月以内に読んだ本の中で、今、私（当社）にとって参考になりそうな本は何かありませんでしたか？」

追伸

もし、あなた様が広告担当者だとしたら、あなた自身にもまったく同じことがあてはまります。自分自身にこそ、厳しく問をぶつけてみる必要があるのかもしれない。

マーケティングコンサルタント



注意！

このレポートは、著作権法によって保護されている著作物です。限られた経営者、ビジネスマンのための情報をわかりやすく伝えていくために無料配布しています。このレポートを無断で複製、無断転載、販売、流用することは、法律で禁止されており、必ず著作権者の許諾が必要です。（たとえ、同一社内であっても、コピーすることは法律で禁止されています。）

また、このレポートのコンテンツを引用及び語る場合、「アスマップの及川英俊によれば・・・」と、必ず出展を明らかにしてください。

合資会社アスマップ

020-0022 岩手県盛岡市大通1-1-16 岩手教育会館6F

TEL 019-665-2733 FAX 019-626-6105 e-mail info@asmap.jp URL <http://www.asmap.jp>

Copyright 2005 ASMAP & Hidetoshi Oikawa All Rights Reserved